

※この器具は別梱の「収納ユニット」が必要です。設置高さに合ったものを準備してください。

工事される方へのお願い

- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検（有料）を受けてください。
- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

設置工事後の点検確認

●チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	2	
同梱部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3・7	
可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	4	
設置条件	障害物等との離隔距離は十分ですか。	2	
保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	4	
水平設置	水平に設置されていますか。	4	
安定設置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4	
給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	7-②	
電気工事	電源コンセントは専用回路になっていますか。アース工事はされましたか。	6	
その他	オープン庫内に同梱物が残っていませんか。	3	

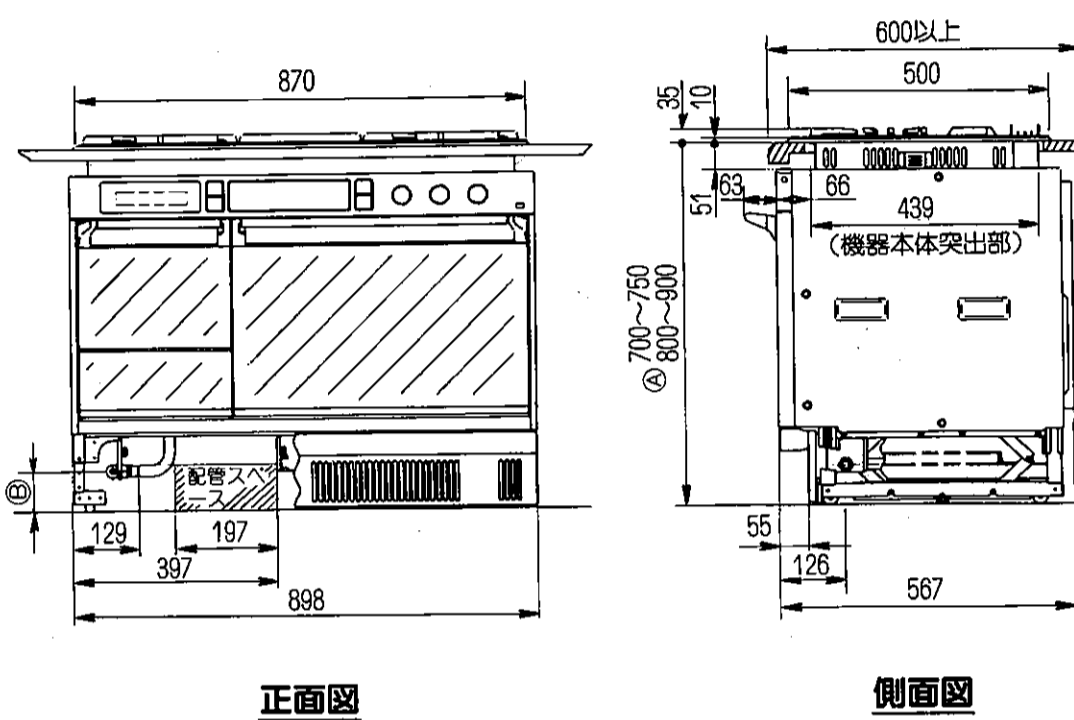
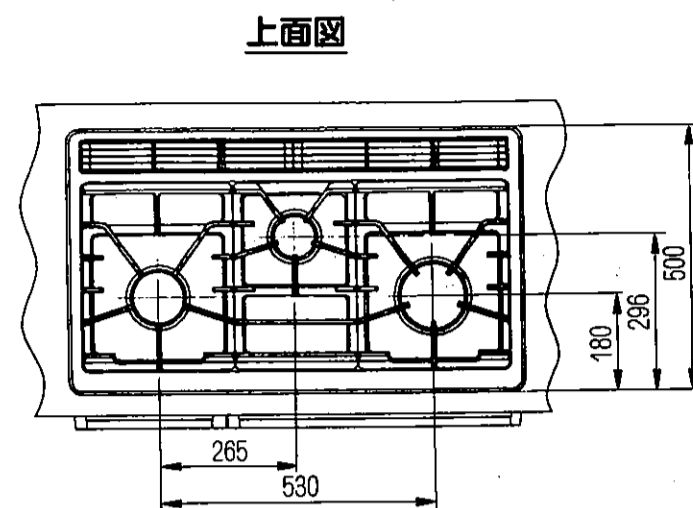
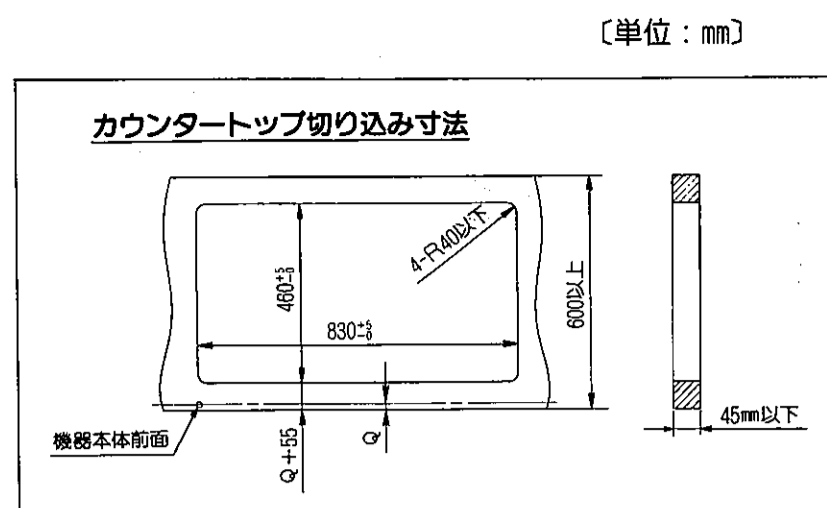
試運転

1. 取扱説明書の「使いかた」に基づき試運転を行なってください。
2. 試運転が終了した後長時間使用しない場合は、ガス栓を閉じる等してください。

お客様への取扱い説明

1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も併せて保管していただくようお願いをしてください。

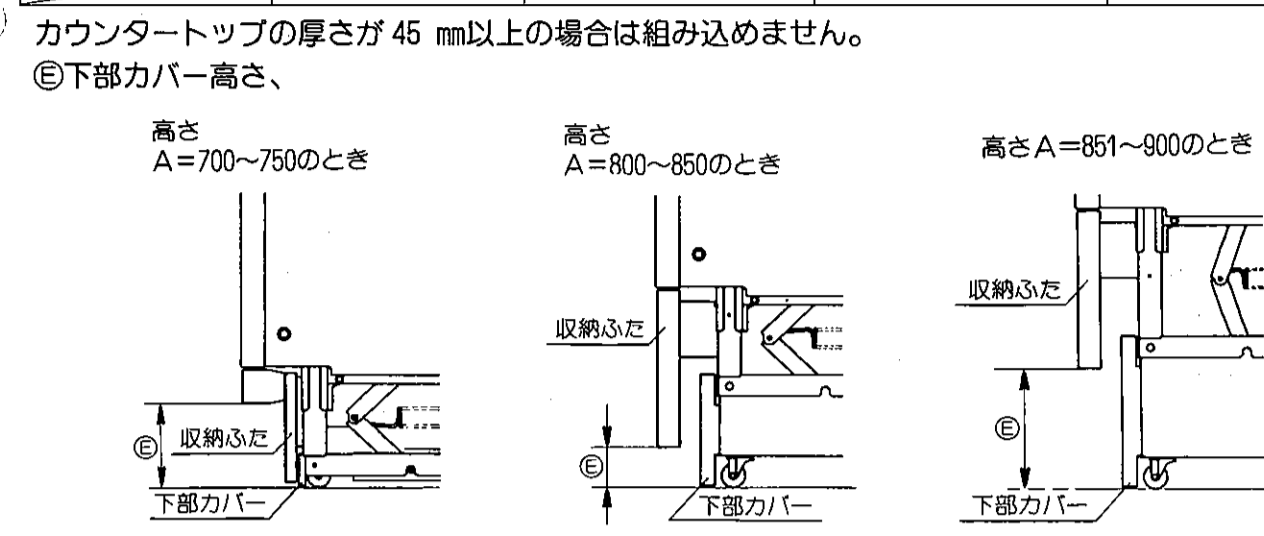
1. 寸法図



収納部納まり図

収納部納まり図
キッチン高さ 700~750⁺⁰、800~900⁺⁰ mmの範囲で任意に対応できます。
キッチンの高さの寸法によって④、⑤寸法が変わります。

別梱部品材(収納ユニット)品番	色調	④寸法	⑤寸法	対応するキッチン高さ (mm)
NE-PB907	シルバー	700~750	78~128	105~155
NE-PB908	黒	800~850	178~228	55~105
NE-PB909	黒	851~900	228~278	106~155
NE-PB908E	黒	800~850	178~228	95~145
NE-PB907Q	黒	700~750	78~128	115~165
NE-PB908Q	黒	800~850	178~228	100~150
NE-PB909Q	黒	851~900	228~278	151~200



2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

器具を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者及びお使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った設置工事を行うと、設置工事業者または設置後の製品の不具合により使用者に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

- ⚠ **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- ⚠ **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
- 🚫 **禁止** この表示の欄は、「禁止」内容です。
- 🛑 **強制** この表示の欄は、「強制」内容です。

2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

設置場所の確認

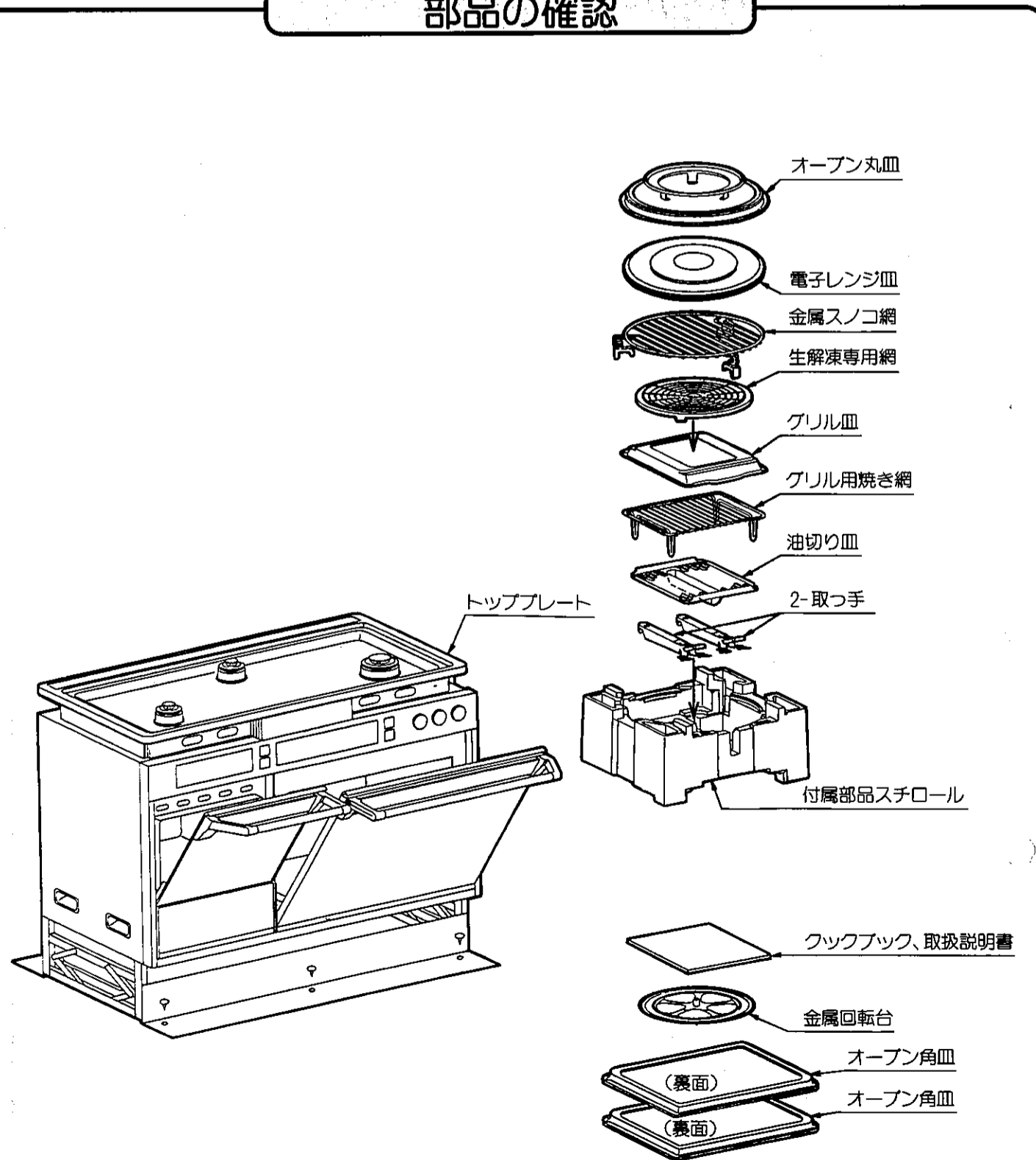
●設置場所は以下の事項をよく確認のうえお決めください。

注意

- 設置する部屋には必ず給気口を設ける (給気口の大きさは、1.16 kW (1 000 kcal/h) 当たり10 cm以上を目安にする。)
 - 十分な給気ができないと不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。
- 設置する部屋には必ず排気口を設ける (ガス消費量が、11.6 kW (10 000 kcal/h) を超える場合、器具の真上に排気フード付排気筒(レンジフード)を設ける)
 - 十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し一酸化炭素中毒などの原因となります。
- 車両・船舶への設置はしない
 - 揺動により器具が転倒し、火災や器具故障の原因となります。
- 器具本体を家具及び家具の一部となる金属部と接触させない
 - 漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準182条により義務付けられています。)
- 落下物の危険のある所及び、樹脂製の照明器具の下には設置しない
 - 火災の原因となります。
- 水がかかる場所には設置しない
 - ガラスの破損やけが、漏電による感電の原因となります。
- 器具後方の排気口(オープン・グリルの排気口)を水切りカバーなどでふさがない
 - ふさぐと高温となり火災や一酸化炭素中毒の原因となります。
- 丈夫で水平な場所に設置する
 - 異常燃焼の原因となります。

3. 設置前の確認

部品の確認



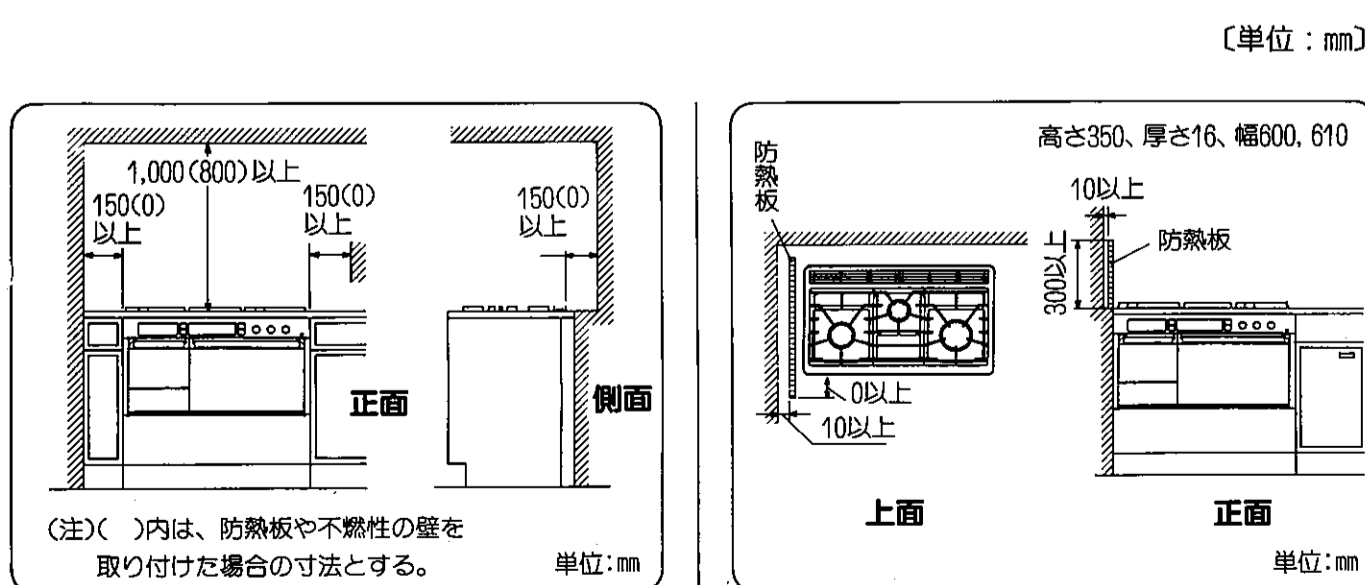
4. 設置上のご注意

防火上の離隔距離

器具を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所または、防火上有効な間隔を確保することが出来る場所に設置してください。
●燃焼器具を設置する場所には、建築基準法や電気設備技術基準、火災予防条例などに定める防火処置を施す必要があります。
●この器具を設置される台所が、建築基準法などに定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は台所全体についても内装材の制限を受けます。

注意

- 防火予防条例に準じ、トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃物から15 cm以上離して又、上部に可燃物(吊り戸棚など)がある場合は、トッププレート上面と可燃物との間に100 cm以上の空間を設けてください。
- 防熱板(別売品)は、必ず当社指定のものを使用する



3. 設置前の確認

開梱

- 開梱しましたら次の項目を確認してください。
 - テープやマットを取り除いてください。……………輸送中器具を保護するものです。
 - 器具の外観に異常がありませんか? ……………キズ、つまみ類の損傷など。
 - 同梱部品の種類と数を確認してください。……………品番により付属部品が異なります。
- ※取扱説明書、料理ブックはオープンの中に入っています。お客様にお渡しいただくまで紛失しないよう大切に保管してください。

2. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

設置工事される方へ

警告

- 電源は専用コンセントを設ける
 - 他の器具と共用すると、過熱し火災の原因となります。
- この「設置工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行なう
 - 有資格者以外のものでの工事は、不備により器具故障や火災の原因となります。
- 工事終了後は、この「設置工事説明書」と「取扱説明書」を一緒に必ずお客様にお渡しする
 - 工事説明書とおり設置されていることおよび正しい器具の使用方法が分からなくなると、取り付けないで使用するご故障や漏電の時に感電することがあります。
- 電源は専用コンセントを設ける
 - 他の器具と共用すると、過熱し火災の原因となります。
- 同一回路でトースターや電気炊飯器などの電熱器を同時に使わない
 - 又、電気容量は15 A以上にする
 - 他の器具と同時に使用したり、電気容量15 A以下を使用すると、過熱し火災の原因となります。
- アースを確実にこる
 - アース線接続
 - 取り付けないで使用するご故障や漏電の時に感電することがあります。

器具の確認

●設置する器具が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確かめください。

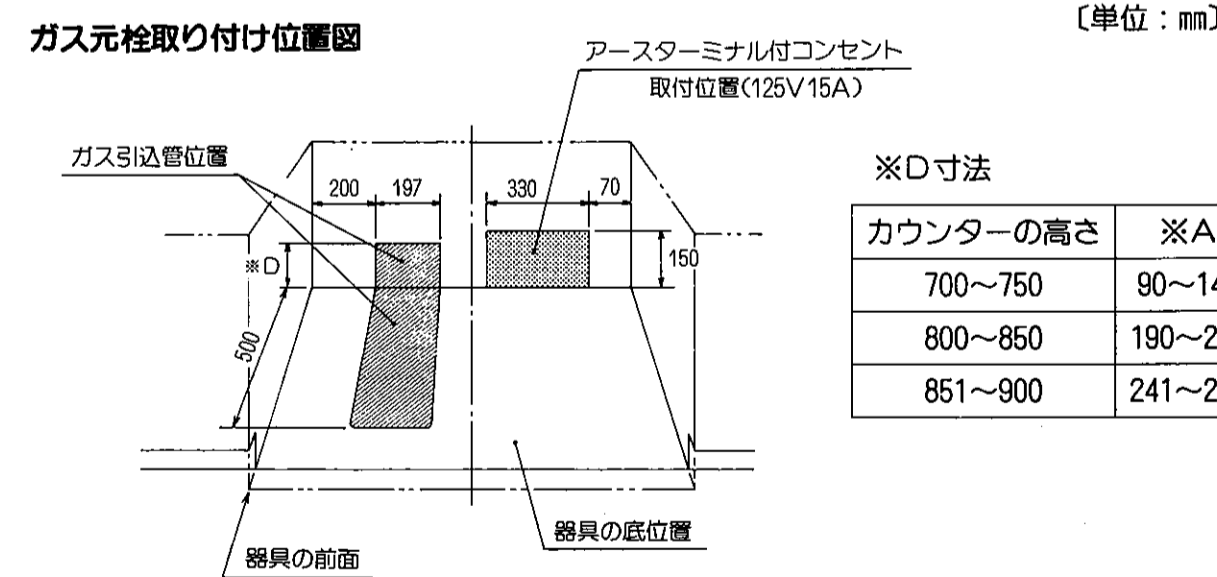
注意

- 銘板に表示の電源(電圧、周波数)及びガス種を使用する (銘板は、トッププレート下の電装ボックス表面に貼付)
- 異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり一酸化炭素中毒や、やけど・火災の原因となります。又、異なる電源を使用すると故障の原因となります。

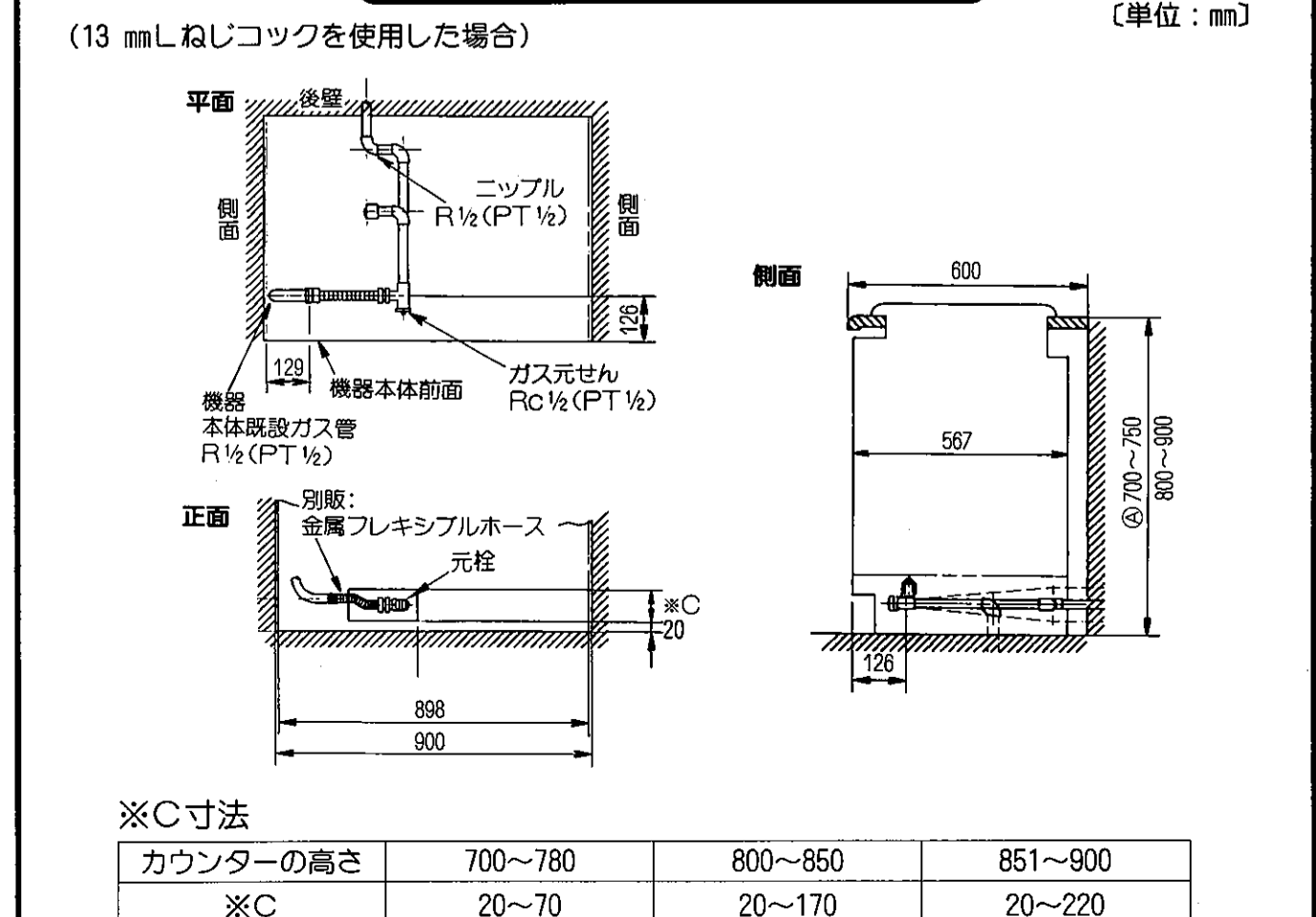
5. ガス配管工事 (ガス接続は金属管接続してください)

ガス工事をされる方へ

- ガス栓は、標準配管工事例に従って取り付けてください。
- ガス配管、電源コンセントの取り出し位置が下図に合っているか確かめてください。



標準配管工事例



- 上図は器具と可燃材料、難燃材料又は準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等との離隔距離を示し、()内は上記に防熱板を取り付けた場合の寸法を示します。
- 器具と壁面との間隔を15 cm以上離せない場合、又は吊り戸棚などの下面との間隔を100 cm以上離せない場合には、壁面及び器具上部へ図のように防熱板(別売品)又は、防熱板相当の不燃材を取り付けてください。
- 冷暖房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
- コンロ部およびキャビネット部裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする。

5. ガス配管工事

ガス接続

- ガス接続はR1/2ねじになっています。必ず金属可とう管にてガス接続してください。銅管接続されますとメンテナンス時に修理できない場合があります。
- 金属可とう管が、器具本体の接続口より上方に飛び出したりしますと、取納トレイが取り付けができません。

ガス漏れの確認

- ガス接続が完了しましたら必ずガス漏れを確認してください。
- ガス漏れ確認の検圧口は器具本体接続口の近くにありま。 (器具前面左下部)
- (7. 器具の設置手順 12項)

6. 電気配線工事

●この器具はAC100V専用です。
●電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。

注意

■電源工事や設置工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」などに準じる

●電源コードの長さは、中継コードを含め1.5mです。

アースについて

- アースを取り付けてお使いください。
- アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。
- アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

コンセント

■専用コンセントを設けてください。
【推奨コンセント】アースターミナル付
なお電子レンジ機能付きの場合の電気容量は15A以上にしてください。

電源	交流100V 50-60Hz
消費電力	電子レンジ 1.20kW オープン 98W

電源表示
アース線接続口

7. 器具設置の手順

①付属部品を取り外す

オープン庫内から付属部品を取り出してください。

3 設置前の確認 参照。

②前後の補強金具をパレット、及び本体から取り外す

- パレット(木ねじ)と器具前後の補強板(タッピンねじ)を取り外し、器具本体と補強板を取り外してください。(外したタッピンねじはあとで使用しますので保管しておいてください。)

補強板とパレット

前……木ねじ×6本
後……木ねじ×4本

補強板と本体

前……黒タッピンねじ×4本
後……黒タッピンねじ×4本

※指定のねじ以外を外さないでください。

③台脚を取り付ける(高さ800mm以上の場合)

- 「収納ユニット」内の台脚を、器具本体左右の脚の内側にはめ込み、各々前後からタッピンねじで固定してください。
- 左右片側ずつ持ち上げて取り付けてください。

※カウンター高さ800~850と851~900の場合は台脚の高さが異なります。

④上部枠とトッププレートを外す

- トッププレートを外した後、左枠、右枠を外してください。

※左、右枠と前枠を固定しているタッピンねじは輸送用であり、不要となります。

⑤温度センサーを倒す

- バーナーを外した後温度センサーを倒してください。

バーナーの取り付け取り外しがた<取り外しかた>

- 押さえ板を矢印(→)の方向に押す。

<取り付けかた>

- バーナーの穴と器具の爪を合わせ矢印(↓)の方向へ「カチツ」というまで押す。

<センサーを倒す>

- 10項までは傾けたままにしてください。

※バーナーの変形・黒六角タッピンねじの紛失に注意してください。

⑥中継コード、アース線を接続する

- 中継コード、アース線を電源コンセントに接続してください。(中継コードは「収納ユニット」に、アース線は本体裏面にあります。)
- 本体左右の脚部を固定しているねじ(左右各前後のタッピンねじ×2本)を取り外してください。(左下図)
- ※固定したままでは器具を持ち上げてセットすることができません。

前後左右……白タッピンねじ 各1本、合計4本

⑦本体を押し下げ、キッチンにはめ込む

- 器具をいっぱい押し下げ、キッチンにはめ込んでください。
- ※センサーが傾いていることを確認してください。
- ※はめ込みの際、バーナーがカウンターに当たらないように十分に押し下げてください。
- ※中継コード、アース線をかみ込まないように注意してください。

⑧本体を持ち上げ、上部枠を取り付ける

- 左、右枠の横にある取っ手で器具を持ち上げ、左、右枠を本体に固定してください。(4項で取り外したものを)

7. 器具設置の手順

⑨カウンタートップと上部枠(本体部)をフックで固定(左右各1カ所)する

- 本体左右枠に固定しているフック、ねじ(M8×50mm)各×2を取り外し、右図の要領で固定してください。
- ※この場合、器具本体の前面と隣のキャビネット前面が合っていることを確かめてください。
- ※締め付け後、締め付け面ができるだけ水平になるように、左、右枠の穴を選んでください。(ねじ頭が極端に上になると、トッププレートと当たることがあります。)

⑩温度センサーをもとの位置に固定する

- 「5.温度センサーを倒す」で倒した温度センサーをもとの位置に固定してください。
- バーナーを取り付けてください。(浮き、傾きのないよう正しくセットしてください。)

⑪トッププレート・排気カバー・バーナーポートごとくをセットする

排気カバーの正しいセット。

⑫ガス引きこみ管と本体既設ガス管とを接続する(表面4.ガス配管工事参照)

※別売の金属フレキシブルホースをご使用ください。
※ガス漏れ検査を行なってください。

⑬中継コードと、本体電源部プラグを接続する

⑭本体の高さを固定する

- 締め付け穴の合ったところで締め付けてください。
- 右図の締め付け穴の合ったところで、2項で取り外したタッピンねじで固定してください。

⑮下部カバー、ストッパーを取り付け、本体を固定ボルトで固定する

- 「収納ユニット」内のストッパーを本体左右の脚にねじで固定してください。(タッピンねじ×4)

<カウンター高さ700~750mmの場合>

- 「収納ユニット」内の下部カバーを、本体左右の脚にねじで固定してください。(タッピンねじ×2)

<カウンター高さ800mm以上の場合>

- 下部カバーのナット部に六角ボルトをねじ込み、本体を固定してください。(六角ボルト×2) (床にふれてから1回が目安です。)

⑯下部カバー、ストッパーを取り付け、本体を固定ボルトで固定する

<カウンター高さ800mm以上の場合>

- 台脚底のナット部に六角ボルトをねじ込み、本体を固定してください。(六角ボルト×2) (床にふれてから1回が目安です。)

- 下部カバー(右図)を台脚にねじで固定し、穴を空けてください。(タッピンねじ×2)

⑰収納ふたを取り付ける

※別梱包の「収納ユニット」を開梱し、「付属部品説明書」に従い、部品を確認してください。(図-1)

①収納箱の粗立

<カウンター高さ700~750mmの場合>

- 収納箱の差し込み部に、収納ふたの折り曲げ部を差し込み、ねじ(2本)で固定してください。(図-1)
- レールは切り欠き穴に差し込み、先端の爪を確実に入れてねじ(1本)で固定してください。(図-2)
- 収納ふたに、収納ふた把手をねじで固定してください。
- NE-PB907の場合(ねじ2本)……図-3
- NE-PB907KおよびNE-PB907Qの場合(タッピンねじ3本)……図-4

<カウンター高さ800mm以上の場合>

- 収納ふたの裏面金具に、スペーサーを、ねじ(4本)で固定してください。
- 収納箱の差し込み部に、スペーサーの折り曲げ部を差し込み、ねじ(2本)で固定してください。
- レールは切り欠き穴に差し込み、先端の爪を確実に入れてねじ(1本)で固定してください。

⑱収納ふたを取り付ける

②収納箱の差し込み

- 組み立てた収納ふたは図のようにローラー部に正しく合わせ差し込んでください。少し差し込むと、固く入りにくくなりますが、この場合手前を少し持ち上げて押し込んでください。

【お願い】
収納ふたを差し込んだ後、収納ふたと本体の隙間がほぼ均一であることを確かめてください。不均一な場合は、収納箱・スペーサーのねじをゆるめ、上または下に寄せて再び締めなおし調整してください。(カウンター高さ700~750の場合、収納箱のねじをゆるめ調整してください。)

⑳試運転を行なう

●表紙の「設置工事後の点検確認」の「●チェックリスト」によりチェックする。

<左コンロバーナー>

都市ガス用で万一リフティング(飛火)や、逆火などが発生した場合、ダンパーを矢印(→)の方向に動かして先端にや丸みがある炎に調節してください。

<右コンロバーナー>
<中コンロバーナー>

右子バーナー
左子バーナー

調節 (都市ガス用)